

平成29年度「市民と議会の対話集会」アンケートに記載された要望等に関する
行政からの回答

①

会場・項目	中津会場 ・ 市民協働
アンケートの要望等	要望 ・ 市民協働の現状がどこまで伝わっているのかお聞きしたかったのですが。市民がもっと取組み等で参加、参画しやすい環境が必要だと思います。何をやるにも若者目線で考えられているものがあるようには思えない内容ばかりだと思います。
行政の担当部課	市民協働課
行政からの回答	現在、地域づくり等市民協働の取り組みにご尽力いただいているのは、ご年配の方が多く、若者への参画意識の向上が必要と考えており、その為に大学生等が地域課題に向き合い地域で活動する域学連携事業に取り組んでいます。地域づくりなどに取り組みやすい環境を整えるためにも、今後も情報発信を行っていきます。

②

会場・項目	中津会場 ・ 消防・防災
アンケートの要望等	要望 ・ 消防署の前の中津川が大雨で前の道路が冠水すると車両の出入りができないので、裏へ出られる道路を早く作ってください。
行政の担当部課	消防総務課
行政からの回答	消防署に複数の出入り口を設けることは、災害時に大変有効であると考えますが、現在の建物の位置等を考慮すると複数の出入り口を設けることは困難です。中津川の氾濫が予想される場合は、緊急車両を河川から離れた場所へ移動して対応することとしています。

③

会場・項目	中津会場 ・ 観光
アンケートの要望等	要望 ・ 中津川駅前に観光バスの駐車場をお願いします。
行政の担当部課	商業振興課
行政からの回答	平成30年度に車と人が利便的かつ安全に利用できる駅前機能を構想としてまとめます。その中では観光バス利用者の昇降場所の配置や送迎車、バスの待機のルールづくりのほか、駅前広場の活用や案内サインの整備なども位置づけていきます。

④

会場・項目	坂本会場 ・ 住宅の新築許可
アンケートの要望等	要望 ・ 住宅の新築許可を厳しくできないか。例えば4m以上の道路に面していないと許可がおりないとか、上下水道、救急車など支障があるとか、居住区を市として決めていいのではないですか。
行政の担当部課	建築住宅課・都市計画課

行政からの回答	坂本地区は都市計画区域内のため、既に建築基準法 42 条、43 条により市道などの幅員 4 m 以上の道路に敷地が 2 m 以上接道しなければ建築できません。ただし、法律が出来る以前から建物の建ち並びのある幅員 4 m 未満の道路で岐阜県が認めた道路については、中心から 2 m セットバック（後退）することで接道要件を満たし建築することができます。従いまして、法律をこえる厳しい規制は必要ないと判断しています。 秩序ある宅地開発は必要と考えており、今後も居住を誘導する都市計画を検討します。
---------	--

⑤

会場・項目	蛭川会場 ・ サンライフ
アンケートの要望等	要望 ・ サンライフを利用していますが、器具がかなり古くなっています。取り換えを希望します。
行政の担当部課	生涯学習スポーツ課
行政からの回答	文化スポーツ施設で使用している器具は数が多く、また、予算も限られているため、すべての要望に応えることができない状況です。 使用に支障が生じることなく、全施設間の器具状態の公平性が保たれるように、優先順位をきめて、順次古くなった器具の取替えに努めてまいります。